

新たな教育モデルを創出し「主体的な学び」を促進

～設置形態・文系理系などの枠を超えた教材の提供で効果的・効率的な学びを推進～

学士力養成のための
共通基盤システムを活用した
主体的学びの促進 **8大学連携**

学生が自ら学び、高い目標に進む仕組みを提供

この取り組みは、平成24年度に文部科学省より採択された5年間の共同教育事業です。

国立大学、私立大学、さらには文系理系、設置形態などの枠も飛び越えた8つの大学が連携し、eラーニングを活用して学生の学士力向上を図ることを目的としてスタートしました。連携校は、千歳科学技術大学・北星学園大学・桜の聖母短期大学・創価大学・山梨大学・愛知大学・愛媛大学・佐賀大学の8つです。

連携事業といえども、設置・教育・研究の目的まで多様な大学が集まっているため、それぞれの固有の教育プログラムを統一的行うことは困難です。



連携事業に関する打合せ

そのためこのプロジェクトでは、学生が自ら学ぶための「教材」を共通で開発し、それらを使

て自ら、より高い目標に進んでいけるような“仕組み”を提供することを最も重視しています。

自身の学力を把握させ、カリキュラムで学習への取り組みを促す

このプロジェクトは、今年で3年目を迎えました。現在の取り組みとして「プレースメントテスト」「到達度テスト」があります。

入学時 **プレースメントテスト**
これからの大学生活で何を学ぶべきかがわかる

- ・eラーニング
- ・初年次学習支援プログラム

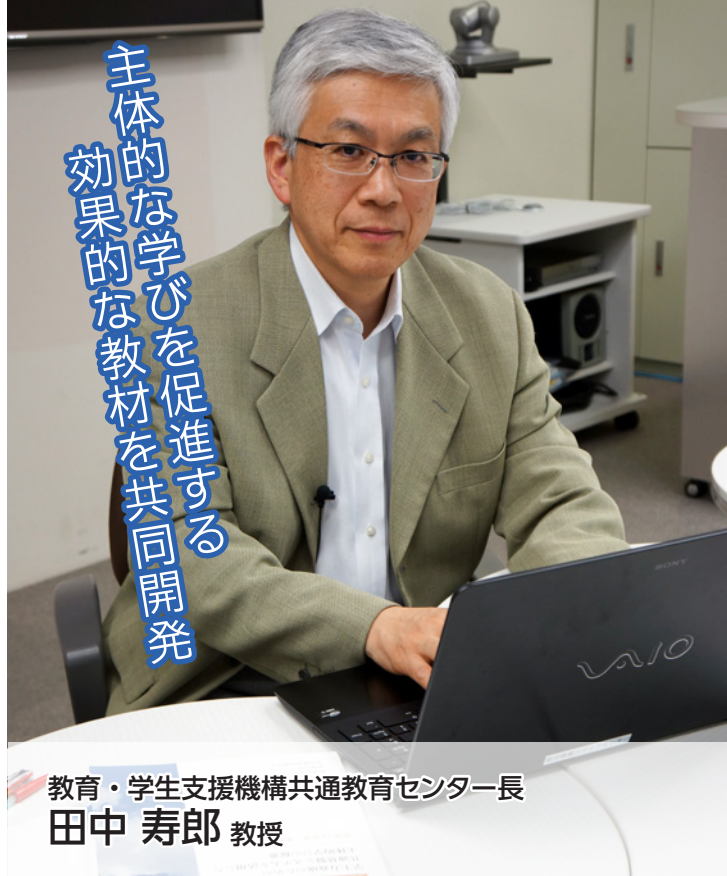
学年終了時 **到達度テスト**
学習の到達度と今後の課題が明確になる

- ・特色ある教育プログラム
- ・キャリア系学習支援プログラム
- ・体験型・交流型教育プログラム

卒業時 **質の高い学士力の確保 主体的な学びの促進**
学士力とともに自己教育力が身につく

まず、自身の学力がどの程度かを把握してもらうために新入生を対象に「プレースメントテスト」を実施します。学生はこの結果を受け、「自分は何を学ぶ必要があるのか」ということを軸とし

主体的な学びを促進する
効果的な教材を共同開発



教育・学生支援機構共通教育センター長
田中 寿郎 教授

たカリキュラムを作成し、それに沿った学習を行います。そして、1～2年後に成果をチェックするための「到達度テスト」を行います。現在、このテストを8大学で共同制作し、それを実施できる段階となっています。

今後はカリキュラムを作成し、それに合ったeラーニングの教材を用意して実施していくという方向性で進んでいます。この教材が完成すれば、各大学のどの学生でも学士力を高めるための学習活動を効果的に行っていくことが可能になると考えています。



プレースメントテスト実施風景

四国における
e-Knowledgeを基盤とした
大学間連携による
大学教育の共同実施 **5大学連携**

連携大学で共通して活用できる特徴ある講義の推進

この取り組みは、平成24年度に文部科学省の国立大学の改革強化推進事業「四国5大学連携による知のプラットフォーム形成事業」として採択され、四国内の5つの国立大学が連携して取り組んでいます。通称「知のプラットフォーム」と呼ばれており、連携校は、愛媛大学・高知大学・徳島大学・香川大学・鳴門教育大学の5つです。

この事業は、大きく3つの取り組みから成り立っています。一つ目は入学試験であるAO入試の共通化、二つ目は共同授業の開講、三つ目はこれまで各大学で作られた知的財産をいかに社会に還元するかというものです。

「共同授業の実施」については、四国5大学が共同して特徴ある講義をeラーニングを用いて提供しようというものです。現在、四国5大学の間で、共同実施をするための仕組みづくりと授業(コンテンツ)の制作を進めています。

この事業の展望

これから、正課(卒業要件と認める単位)となる講義を開講し、学生が様々な学習を行えるような仕組みを作っていきます。

知的好奇心を刺激する効果的なコンテンツを提供

この連携事業では、知的好奇心を刺激し、「よりたくさんのことを学びたい」と思わせるコンテンツを提供します。

学生が「自ら勉強する」というトレーニングを行いながら、自らの知的な興味に基づいて未知のものを勉強する経験を重ねていくことにより、各大学それぞれの先生方の講義での学習が、より効果的に進むようになるのではないかと考えています。



▲「学士力養成のための共通基盤システムを活用した主体的学びの促進」事業概要